

第3回朝倉市まちづくり審議会(H31.1.7)意見に対する対応

資料1

番号	頁	意見	その場の回答	その後の対応
1		インターネットには説明文はない。サブタイトルとして「復興から未来へ」や「復興からの創造」とかあれば朝倉と分かる。サブタイトルなしと決めた根拠説明がない。		(資料2)
2	P.14	ホームページでは説明文は出てこないの、メインタイトルだけでみんなが分かるのか危惧している。	短いメインタイトルで都市像としたい。庁内の策定委員会でも協議し、サブタイトルをつけていない。(係長)	審議会が出た意見をふまえて策定委員会で再度協議した結果、サブタイトルはつけないとの結論となった。
3		表現としてはきれいだが、これだけではちょっと。復興は10年かかると言われているので短く一言で「災害からの～」など入れてほしい。		
4		目指す姿として、少子高齢化の現状にある中で高齢になっても元気でいきいきとした生活ができるイメージの表現ができないか。例えば「元気と笑顔があふれる」の後に表現を入れてほしい。		(資料2)
5	P.14	高齢者の元気をいれるのであれば、地方創生という意味では若い世代を増やさないと少子化に対応できないわけだから、高齢者のみならず、すべての世代の人々が、地元住民が、ということで地方創生の人口増と若い世代の人口増ということもふくめて少子高齢化の解消を目指すということも含まれた方が、将来像としては地方創生の大きな目標にもつながる。事務局で検討を。	高齢者の元気という件、サブタイトルの件は、パブコメもあるので、審議会の意見も踏まえて策定委員会で検討したい。(課長)	「被災前よりも全ての世代に元気と笑顔があふれ」とする。
6	P.18	基本目標4について。県の環境基本計画に7つの柱がある。参考にして体系をもう一度整理してもらいたい。	前回の審議会後に環境課と協議しているが調整がつかない。再度協議する。	(資料3)(資料4) 環境課、北筑後保健福祉環境事務所と協議の上、別紙のとおり修正。
7	P.18	基本目標4「次代につなぐ良好な環境の保全と循環型社会の構築」の具体的な部分について、環境の保全の中に循環型社会の構築は含まれる部分なので、「循環型社会の構築」は抜いてもいいのではないかと思う。		(資料3)(資料4) 【基本目標4 次代につなぐ良好な環境の保全と循環型社会の構築】の基本目標名称を「次代につなぐ良好な環境の保全と循環型社会の構築」から「次代につなぐ良好な環境の保全」に変更。

番号	頁	意見	その場の回答	その後の対応
8	P.18	基本目標5について林業の振興とあるが、農業の振興については基本事業がいくつもある。林業はなぜ1つなのか。	林業の振興の中で様々な事務事業がある。(係長)	(資料3)(資料5) <ul style="list-style-type: none"> ・【基本目標5 施策13 基本事業2 地域農業を支える多彩な担い手の育成・確保】の基本事業名称を「地域農業を支える多彩な担い手の育成・確保」から「地域農林業を支える多彩な担い手の育成・確保」に変更。 ・【基本目標5 施策13 基本事業2 地域農業を支える多彩な担い手の育成・確保】の基本事業の目指す姿を「各種の支援により、認定農業者や認定新規就農者などの中核的な担い手が育成・確保されています。」から「認定農業者、認定新規就農者等の中核的な担い手や林業後継者が育成・確保されています。」に変更。
9	P.18	農林業基盤の整備など、いくつか林業をいれたらどうか。	林業の振興の中でまとめてぶら下げたい考え。(係長)	<ul style="list-style-type: none"> ・【基本目標5 施策13 基本事業8 農業基盤の整備】の基本事業名称を「農業基盤の整備」から「農林業基盤の整備」に変更。 ・【基本目標5 施策13 基本事業8 農業基盤の整備】の基本事業の目指す姿を「農業基盤が整備され、農業の生産性が向上しています。」から「農林業基盤が整備され、生産性が向上しています。」に変更。 ・【基本目標5 施策13 農林業の振興】の施策の目指す姿を「生産額が増加し、農家所得が向上しています。」から「農林業の生産性が高まり、所得が向上しています。」へ変更。
10		市街地の整備とあるが市街地とはどの辺か。	中心市街地は甘木地区を指す。市街地はいろいろな考え方があり、例えば都市計画の区域内や旧朝倉町、杷木町の中心的なまちがあったところを指す場合もある。(課長)	朝倉市都市計画マスタープランによると、市街地の明確な定義づけはない。用途地域を市街地ゾーンとして、甘木IC周辺の幹線道路沿道をIC周辺市街地ゾーンとして位置付け、様々な機能集積、適正な土地利用規制と市街地整備により良好な市街地の整備を図るとしている。また、朝倉地域、杷木地域の既成市街地を地域拠点ゾーンと位置づけ、地域特性に応じた拠点形成を図るとしている。
11	P.19	整備と書いてあるのでどこかを考えているのですよね。3つの地区を中心に整備をするということか。		
12		都市計画の担当課に定義をきいて、あればまた報告をお願いしたい。		
13	P.19	住環境の整備とあるが、空き家対策について項目を起さなくてよいのか。	基本事業には名称を設定していないが、P. 85の基本事業「移住・定住の促進」があり、空き家対策に関する事業については事務事業としてぶら下げている。(係長)	修正なし。
14	P.19	7の子育て支援について母子保健の充実と書いてあるが、父子家庭の健康の充実という視点はないのか。	母子保健法に基づく事業が主で、妊婦健診、乳幼児健診などがぶら下がる。父子家庭など家庭の支援となると、5の経済的支援、3の相談支援の実施、1の子育て環境の充実にぶら下がる。(係長)	修正なし。
15	P.19	外国人が増えてくるが、外国人の子の支援はどこにぶら下がるのか。そういう視点をもっているか。	今後、市として取組が必要との認識はある。今の段階では市として支援策・事業がないので、事業を新たに実施する場合には、基本目標2で施策「市民協働のまちづくり」「地域福祉の推進」「人権が尊重されたまちづくり」とあるので、いずれかにぶら下げたい。(係長)	修正なし。
16	P.19	外国人対策は今のところそれほど必要ではないと考えているのか。今後10年の間に必要であればぶら下げていくという考えか。	基本的にはその考え方が、計画は4年。短い計画期間ということもあり、取り組む際はどこかにぶら下げて事業を実施したい。(係長)	
17		4年毎ということで3年後には見直しとなる。その時に問題が大きくなっていけば文言として反映していくということでよいか。		

番号	頁	意見	その場の回答	その後の対応
18	P.19	8に「生涯にわたる学び、挑戦、活躍の推進」とあるがめずらしい。これまでの計画ではなかった。生涯学習とかスポーツであればその人の気持ちや力量に応じた学びを推進すればよいのでは。「挑戦」「活躍」は削除したほうがよい。P. 41を見ても特に表現されていない。	いろんな層の年代を対象にして表現したつもり。特定の方を対象にしたことは想定していない。P. 41については目指す姿をまとめているが、「生涯にわたる学び、挑戦、活躍の推進」は目標であって、それに向けて市として取り組んでいくということ。(係長)	(資料3)
19		幅広くなら「挑戦」「活躍」とかいらぬ。身の丈に合った趣味を楽しむ、学習するでよいのでは。	検討させていただきたい。(係長)	【基本目標8 生涯にわたる学び、挑戦、活躍の推進】の基本目標名称を「生涯にわたる学び、挑戦、活躍の推進」から「生涯にわたる学び、活動の推進」に変更。
20		生涯学習や生涯活躍は地方創生でもうたわれているのでその辺も含めて検討させていただきたい。		
21	P.19	こどもたちへの学習機会の提供とあるが、学校教育の充実と同じように思える。意味が分かるように書いてもらいたい。	施策24の基本事業5の「子どもたちへの学習機会の提供」については学校ではなく、地域と学校が一緒になって子育てしましょうとか、コミュニティスクール等、地域が一体となって子育てしていきましょうということ。(係長)	修正なし。
22		内容がわかる見出しにしたらどうか。	基本事業については内容が分かりやすいのが一番だが、様々な事務事業がぶら下がるので大まかな表現にしている。(係長)	
23	P.19	施策24の基本事業5は「こどもたち」は「子どもたち」じゃないのか。	修正します。(係長)	体系図、基本計画、資料編において「こどもたちへの学習機会の提供」を「子どもたちへの学習機会の提供」に変更。
24	P.19	基本目標6の施策19の基本事業2はP. 87を見ると「用途地域内未利用地面積」という指標がある。「市街地内の適正な土地利用の推進」という基本事業名からどのような事業があるか教えてほしい。また、P. 19の基本目標6「快適で住みよい都市基盤の充実」は施策と分野の文言が整合性がとれていない。	意見として伺い、次の機会に説明したい。(課長)	基本事業「市街地内の適正な土地利用の推進」には都市計画推進事務がある。都市基盤整備のため、適正かつ計画的な土地利用を図ることを目的としている。基本目標6「快適で住みよい都市基盤の充実」は施策と分野の文言の整合はとれていると考えている。
25	P.19	体系図で重点分野の●が20あるが、選ぶ際に何を優先したのか。●とP. 19の横断的に取り組む重点分野の●が混同する。記号を変えた方が分かりやすい。	それぞれの担当部署や策定委員会でもんでもらい、市長にも意見を伺った。特に4年間で●がついているところに力を入れていく。また、「横断的に取り組む分野」は「横断的に取り組む重点分野」に修正。その分の●も重点という意味ではあながち間違いではない。次の機会までに説明できるようにきちっとしておきたい。(課長)	(資料3) 市長マニフェスト、復興計画、総合戦略を踏まえて重点分野の設定を行い、策定委員会で協議し、市長の意見を反映させて重点分野を決定した。横断的に取り組む重点分野については●→◆に変更。

番号	頁	意見	その場の回答	その後の対応
26	P.32	P. 32農林業の振興に「消費者との交流による農村地域の活性化」とあるが、グリーンツーリズムの表現がない。朝倉は県内で一番発展している。修学旅行の農業体験を受け入れるのも県内で朝倉のみ。ぜひ強調してほしい。活性化のためであれば食育の表現も必要。「グリーンツーリズム(農業体験)の実施や食育の推進、直売所の魅力アップにより、農業への理解や地域の活性化が進んでいます。」に変えてもらいたい。	担当課と協議して次回までに答えを出したい。(係長)	(資料3)(資料5) 【基本目標5 施策13 基本事業6 魅力ある新たな朝倉ブランドの開発】の基本事業の目指す姿を「新たな特産品や農産物の開発、商品価値の高い農産物の生産量を増加させ、朝倉産の付加価値が高まっています。」から「新たな農産物の産地化や付加価値の高い6次化商品の開発により、朝倉ブランドの魅力が高まっています。」に変更。
27		同じく「魅力ある新たな朝倉ブランドの開発」についても、6次産業化の表現がないので入れてほしい。目指す姿に農産物の開発とあるが市では行わないので、「新たな農産物の産地化や、付加価値の高い6次化商品の開発により、朝倉ブランドのブランド力(魅力)が高まっています。」と変えていただきたい。		【基本目標5 施策13 基本事業9 消費者との交流による農村地域の活性化】の基本事業の目指す姿を「消費者との交流や直売所等での交流を通して、農業への理解や地域の活性化が進んでいます。」から「グリーンツーリズムの実施や食育の推進、直売所の魅力アップ等により農業への理解や地域の活性化が進んでいます。」に変更。
28	P.29	P. 29の「ごみの不適切処理の抑制」は「ごみの不適正処理の抑制」に修正を。		P. 29「ごみの不適切処理の抑制」を「ごみの不適正処理の抑制」に修正。
29		基本計画の課題と大綱とあるが、課題のところに施策の面についても書いてある。わかりやすく課題だけにできないか。	課題には言い回しとして「〇〇が必要です。」「〇〇が重要です。」とある。〇〇が課題、問題点ととらえる。大綱については市として「進めます」「図ります」「取り組みます」という言い回しにしている。他の計画等を参考にして素案として整理している。(係長)	修正なし。
30		目標値について。P. 93の4「児童虐待の防止」は現状値22件、目標値22件になっている。検討が必要。	虐待に関する相談件数が近年増加傾向にある。それを今のレベルで留めることを目標としたい。(係長)	【基本目標7 施策22 基本事業4 児童虐待の防止】の指標を「児童虐待に関する相談件数(現状値22 目標値22)」から「児童の一時保護(虐待)件数(現状値1 目標値0)」に変更。
31	P.93	成果指標と活動指標とあって、どういう指標をたてるかは難しい。0は理想だがなかなかありえない。市がきちんと救ってあげた率等、これから議論していかなければならない。	虐待に関する相談件数は活動件数になる。ここだけではなく、件数であがっている指標が他にもある。現行の行政評価の指標になる。適当な指標がない、設定できないなど代替指標として設定する場合もある。再度担当課と協議したい。(係長)	
32		ところどころで行政用語が出てくる。P. 40「還元」を「いかせる」に変えるなど、一般の方が読んで分かりやすい文章に変えたらどうか。	分かりやすい文章になるように努力したい。(係長)	素案全体について見直し予定。
33		策定方針に「市民に分かりやすい」とあるので願う。		
34	P.68	P. 68福岡県平均のごみの排出量があるが、平成29年度の数値が出ているので変更してほしい。		施策を取り巻く環境変化と課題/施策の基本方針の一日一人あたりのごみ排出量の福岡県平均について「971g(平成28年度)」を「954g(平成29年度)」に変更。
35		前回欠席したので、議事録を見て初めて知る意見もある。早めに郵送してもらいたい。	議事録については次回資料と一緒に送付するようにしているが、今回からは作成次第送付したい。	作成次第送付。